第 57 回東海学校保健学会総会を主催しました

2014 年 9 月 6 日、じゅうろくプラザで開催された、第 57 回東海学校保健学会総会を岐阜大学保健管理センターが主催しました。「生涯健康の基礎を築く学校保健活動」をメインテーマに、山本眞由美センター長が大会長を務めました。本学会は、学校保健管理に携わる医師・看護師・保健師・養護教諭等の医療専門職の、業務の質向上のために知識と技術を獲得することを目的に開催としています。今年は、約 200 名の参加者を得て、成功裏に大会を終えることが出来ました。

午前の研究発表では、18 題の発表があり、活発で熱心な討論が行われました。また、西尾彰泰准教授が優秀演題賞を受賞しました。午後の講演は、西村悟子准教授（岐阜大学）から「発達障がい者の理解と支援」、金子英雄臨床研究部長（国立病院機構 長良医療センター）から「学校における食物アレルギー対応」、加納正嗣部長（羽島市民病院小児科）から「学校検尿の重要性と管理」、中田直助氏（NPO 法人いまから）から「ひきこもり支援」と続き、内容の濃い充実した学術学会でした。

参加者・演者をはじめ、多くの方にご支援・ご協力いただきましたことを、心より御礼申し上げます。

なお、このことは岐阜新聞（9 月 7 日）に取り上げられ、記事になりました。

（文責：堀田亮・保健管理センター 助教）